

平成29年度北海道教育研究所連盟 第1回共同研究推進委員会

平成29年5月10日（水）に北海道立教育研究所において、第1回共同研究推進委員会を開催しました。共同研究推進委員会は、各管内の教育研究所・研修センターを4ブロックに分け、各ブロックで選出された共同研究推進委員8名、札幌市教育センター1名、北海道教育大学1名、道研2名の計12名で構成しています。委員長には平本哲也委員（日高教育研究所）が選出されました。委員会では、事務局より第16次共同研究の計画についての説明と協議が行われました。



第1回共同研究推進委員会の様子

第16次共同研究について

研究主題「これからの時代の教員に求められる資質能力の向上に係る支援の在り方」

第16次共同研究は、本年度から3年間研究を進めます。各教育研究所・研修センターが学校支援のために活用する研修コンテンツ等を収集・提供するとともに、各教育研究所・研修センターが実施する北海道の地域性等に対応した教員研修の充実を図ることにより、これからの時代の教員に求められる資質能力の向上に資することを研究のねらいとしています。

第16次共同研究の内容として以下の2点を設定しました。

研究内容1 コンテンツによる支援	研究内容2 ICTの活用による支援 ～ビデオ通話ソフトウェアによる遠隔研修～
(1) 新たな教育課題に対応する研修コンテンツの提供 ・カリキュラム・マネジメント、主体的・対話的で深い学び、外国語教育、道徳教育、校種間連携などについての研修コンテンツの作成・提供 (2) 授業改善を促す資料の提供 ・学習指導案、映像資料 など (3) 校内研修の活性化を図る手法、実践事例の提供 ・ワークショップ型研修、メンター研修、ミニ研修 など	(1) 各教育研究所・研修センターから遠距離にある学校、小規模校、若手教員が多い学校等への支援 ・所員や他校の教員によるビデオ通話ソフトウェアを活用した講義・助言 など (2) 学校間の学び合いの場の設定 ・複数の小規模校による合同の研究協議 ・離れた学校に在籍する、同じ担当教科の教員による授業参観・協議 など

協議の中では、「コンテンツは、実践例や指導案など、授業に結びつく内容がよい」「各教育研究所・研修センターの研修講座で活用しているコンテンツを収集して、全体で共有したい」など貴重な意見が多く聞かれました。

共同研究1年次は、資料の収集や研修コンテンツの作成などを行い、2年次はそれらを活用した事例を収集し、3年次には研修コンテンツと活用事例を普及・還元できるようにしていきたいと考えています。

第16次共同研究推進計画



研修コンテンツ作成の演習の様子

	研究内容1	研究内容2
平成29年度 <1年次> 作成	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校の実態に応じた研修コンテンツの作成 ○ 校内研修に活用できる映像資料の作成 ○ メンター研修等の実践事例の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェア活用の試行
平成30年度 <2年次> 実施	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツを活用した研修の実施、事例の収集 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の活用促進、活用事例の収集 ○ メンター研修等の実践事例の収集 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修の試行
平成31年度 <3年次> 普及・還元	<ul style="list-style-type: none"> ○ 研修コンテンツを活用した研修事例の普及・還元 ○ 校内研修に活用できる映像資料等の活用事例の普及・還元 ○ メンター研修等の実践事例の普及・還元 	<ul style="list-style-type: none"> ○ ビデオ通話ソフトウェアを活用した研修事例の普及・還元